



地域包括を大解剖!

檜葉町地域包括支援センター事業報告

～令和5年度の振り返りと今年度の展望～

檜葉町地域包括支援センターには、高齢者や障がいのある方の総合相談窓口として、日々様々な相談が寄せられます。介護保険や介護予防、認知症や医療・保健、そして地域づくりまで、相談内容は多岐にわたります。今回は、地域包括支援センターの令和5年度事業を振り返り、様々な統計をもとに町の福祉の現状を読み解き、今後の事業展望についてお届けします!

総合相談支援業務

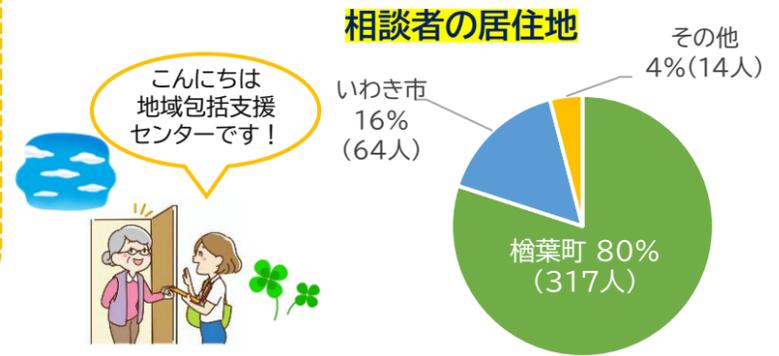
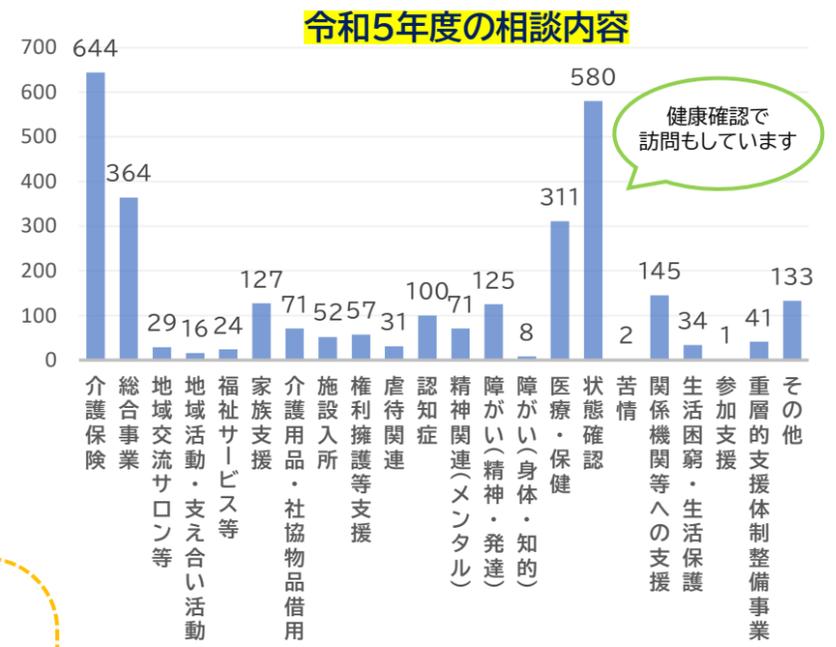
令和5年度（令和5年4月～令和6年3月）に寄せられた相談件数は**2,966件**で、相談人数は延べ**2,561人**（実人数**395人**）となりました。相談は、一次相談（住民からの直接相談）のほか、二次相談（町保健福祉課、生活支援相談員、民生児童委員等の関係機関からの相談）も多く寄せられました。また、概ね40歳以上の障がいのある方の相談窓口として、相談依頼も増加傾向となっています。

- 相談内容として、
- 介護保険の相談 **644件**
 - 総合事業(介護予防事業)の相談 **364件**
 - 医療・保健に関する相談 **311件**
- が多い結果となりました。

また、世帯で複合的な課題(生活困窮、介護ストレス、不就業、閉じこもり等)を抱えた相談が増えていることも近年の傾向として挙げられます。このようなケースに対し、地域包括支援センターでは関係機関と連携して、世帯全体を支援する「重層的支援」を行っています。

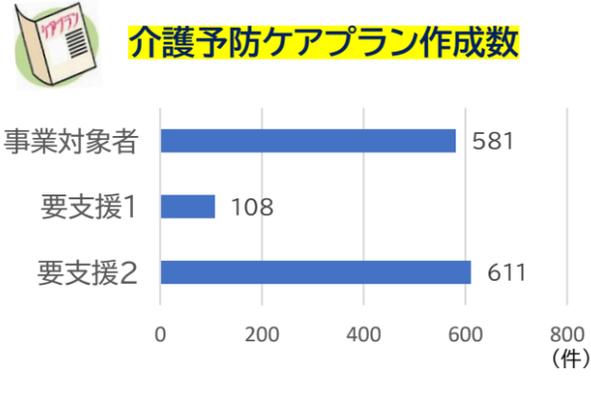


相談者の居住地の割合は、実人数395人のうち檜葉町が80%（317人）、いわき市が16%（64人）、その他（いわき市以外の県内外）が4%（14人）となり、町内居住者からの相談が8割を占めました。また、いわき市に居住する方への戸別訪問も行っており、継続的な相談支援を行っています。



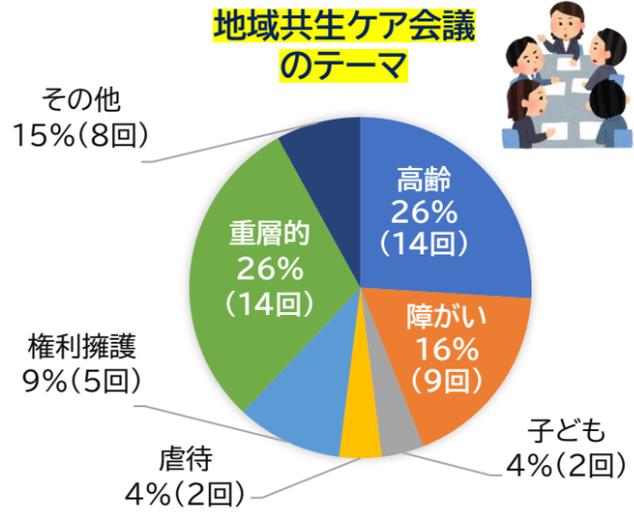
介護予防支援・介護予防ケアマネジメント

地域包括支援センターでは、要介護認定で「要支援1」「要支援2」または「総合事業対象者」となった方から依頼を受けて、介護予防及び日常生活支援を目的としたケアプランを作成しています（町外に居住している方については居住先の事業所に委託しています）。令和5年度のプラン作成数は延べ**1,300件**となり、「要支援2」のケアプラン作成数が最も多い結果となりました。



地域包括ケアシステム深化推進業務

地域共生ケア会議では、地域包括ケアシステムの実現に向けて、専門職や関係機関とケースの検討を行い、地域課題の把握や支援策について話し合いを行っています。令和5年度は、定例会議（月1回）と随時会議を合わせて**54回**開催しました。令和3年度と比較すると、開催回数は約2.5倍に増え、検討する分野も拡大し、令和5年度は新たに子ども分野に関するケースの検討がなされました。



- 地域共生ケア会議では、
- 複合的課題を抱える世帯への支援(重層的支援)
 - 認知機能の低下した高齢者への成年後見制度の利用支援
 - 母子世帯への支援
- をはじめとして様々なケースについて検討され、本人の意思決定を中心とした支援策が話し合われました。

上記以外にも、地域課題を協議するワーキンググループ、権利擁護に関する会議、認知症初期集中支援チーム員会議、地域包括ケアシステム構築推進に関する打合せ、民生児童委員協議会定例会等への参加数は延べ**984回**となり、様々な協議の場に参加した一年となりました。



地域包括支援センターは、福祉・介護・医療・健康面で「こんなときどうしよう?」という時の身近な相談窓口です。今年度は、認知症になっても安心した暮らしを続けられるように、地域の皆さんと一緒に作り上げる支え合いのネットワーク「チームオレンジ」も新たにスタートします。住民の皆さんや関係機関と連携し、地域一体となって「みんなで支え合い 幸せを実感できるまち」の実現に向け、今後も地域包括支援センターの活動を行ってまいります。よろしくお願いいたします!



高齢者・障がい者の総合相談窓口
 TEL:0240-25-4155 FAX:0240-25-4156
 〒979-0604 檜葉町大字北田字鐘突堂5-5 (檜葉町保健福祉会館3F)
 Email: naraha-houkatsu@car.ocn.ne.jp

地域づくりの今!

地域ミニデイを巡回する「ならは移動保健室」!

～ 身近な保健師&看護師が地域におじゃまします ～



「ならは移動保健室」とは?

「ならは移動保健室」は、町や地域包括支援センターが連携し、保健師や看護師が地域ミニデイにおじゃまして血圧測定や健康相談、季節に応じたミニ健康講話を行うものです。ミニデイで住民の皆さんと顔を合わせ、血圧測定を行いながら健康状態を把握するほか、何か健康面で気になることがあれば気軽に相談できる身近な移動保健室として、令和2年6月にスタートしました。

生活支援コーディネーター 小林

健康づくりの普及啓発&保健活動の推進に向けて



地域包括支援センターでは、昨年度まで「ならは移動保健室」の活動に参画していた磐城前センター長からバトンを受け継ぎ、新たに馬上看護師が加わりました。さらに町の永山保健師も加わり、新しい顔ぶれで今年度の活動がスタートしました。

今回、保健師や看護師が集まり、これまでの活動について振り返りを行ったほか、今後のさらなる活動の充実に向けて意気込みを伺いました!

(藤田保健師からのコメント)

今年度、町の保健師は4名体制で、地域包括支援センターと連携しながらミニデイにおじゃまします。どうぞよろしくお願いいたします。

(緒方保健師&坂本保健師からのコメント)

私たちは乳幼児の保健事業を兼務していますが、今年度もミニデイで地域の皆さんとお会いできるのを楽しみにしています。

(永山保健師&馬上看護師からのコメント)

今年度初めて「ならは移動保健室」の活動に参加します。地域の皆さん、是非お気軽に声をかけてください!



これからも地域におじゃまします!

永山保健師

居宅介護支援事業所 磐城保健師

坂本保健師

馬上看護師

緒方保健師

藤田保健師

「ならは移動保健室」がスタートしてまもなく4年となり、保健師と住民の皆さんの顔の見える関係が出来てきました。血圧測定時のちょっとした健康相談をきっかけに、病院の受診につながったり、その後の戸別訪問につながることもあります。さらなる健康づくりの普及啓発や保健活動の推進に向けて、今後の「ならは移動保健室」に期待しています♪



居宅介護支援事業所 管理者 磐城 美樹

看護師として皆さんの健康づくりをサポートできるよう努めていきます。困った時には気軽に声がけ下さい。



馬上看護師

私も生活支援コーディネーターとしてミニデイにおじゃまするなかで、「保健師さんが来たら聞きたいことがあったんだ」「ミニデイで質問出来るのは良いね」等の声を耳にするようになり、「ならは移動保健室」が地域に浸透しているのを感じています。

今年度は、月ごとに保健師や看護師が様々なテーマでミニ健康講話を行っています。5月は「口腔ケア(口のなかの清潔を保つポイント等)」についてお話しており、6月以降も身近なテーマ(食中毒対策、熱中症対策etc...)で各地を巡回します。是非お近くのミニデイにお出かけください♪

檜葉町地域包括支援センター 職員紹介コーナー



職員異動のお知らせ(令和6年4月1日付)

- ・檜葉町地域包括支援センター 馬上 友美 (デイサービスセンターやまゆり荘より異動)
- ・檜葉町居宅介護支援事業所 磐城 美樹 (地域包括支援センターより異動)

センター長 江尻しのぶ



好きな色: **オレンジ**

色診断 (オレンジ色が好きなあなた、明るく親しみやすいみんなの人気者)

好きな言葉【Love & Peace】

理由: 一人一人の愛で世界が平和になったらいいなと常々思うので...

大切にしていること【ポジティブ思考】

今年の目標【一日一善】
~心の余裕を持つ~



生活支援コーディネーター 小林紀子



好きな色: **青**

色診断 (周りへの配慮が上手な思慮深い人)

好きな言葉【神に祈ったか】

理由: 神に祈るくらい人事を尽くしたか? という意味で、そう在りたいと思ったから。

大切にしていること

【相談者をリスペクトする】
今年の目標【余裕を持った行動】

社会福祉士 渡邊正道



好きな色: **紺色**

色診断 (影のリーダー、縁の下の力持ち)

好きな言葉【安定感】

理由: 安心・安全・平穩を出せる人になりたいからです。

大切にしていること【休眠休息】

今年の目標【キャベツを作ってみたい!】



看護師 馬上友美



好きな色: **黄色**

色診断 (知性と明るさを兼ね備えた頭脳派)

好きな言葉【笑顔】

理由: 笑顔と笑いがある毎日を心掛けているからです!!

大切にしているもの【家族】

今年の目標【自分のできることを1つ1つ増やし貢献できるようになる】